

1. 戦争にわく国民	4
2. 東条独裁の成立	6
3. 言論の統制	8
4. 国民生活の統制	10
5. 国民生活の悪化と配給制	12
6. 国民学校と子どもたちの生活	14
7. 陸海軍の総兵力の増大	16
◆戦場では、戦後では	18
8. 労働力動員とその限界	20
9. 女性の動員	22
10. 戦争経済の拡大	24
11. 戦争経済の崩壊	26
12. 戦争と障害者	28

13. 戦争と靖国神社	30
14. 総力戦とかわっていく日本社会	32
◆子どもたちの生活変化	34
もっとわかるために	36
さくいん	38
あとがき	39

ビジュアルブック 語り伝えるアジア・太平洋戦争【全5巻】

- 第1巻 — 開戦への道のり
- 第2巻 — アジア・太平洋戦争の開戦
- 第3巻 — 戦時下、戦後の国民生活
- 第4巻 — 空襲、疎開、日本の敗戦
- 第5巻 — おわらない戦後と平和への道

本文中※は「用語の解説」(36～37ページ)参照

◀この巻で できごと▶

1940	国民徴用法が公布される	1943	朝鮮・台湾に徴兵制 中国入独制連行はじまる
1941	第二次世界大戦(一四五)	1944	財閥解体 農地改革が指令される
1942	朝鮮人強制連行政策がとられる	1945	政治維持法の廃止 政治犯の釈放 ソ連が日本に宣戦する
1943	労働動員計画づくりはじまる	1946	原子爆弾が広島・長崎におとされる
1944	国民徴用令が公布される	1947	ポツダム会議 国際連合ができる
1945	物資動員計画はじまる	1948	花岡事件おこる
1946	国家総動員法ができる	1949	ヤルタ会議 ドイツが降伏
1947	厚生省つくれる	1950	女子挺身労働令が公布される
1948	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	1951	徴兵検査を一九歳にひきさげ 学徒出陣
1949	日独伊三国同盟	1952	イタリヤが降伏
1950	国民徴用法が公布される	1953	朝鮮半島に停戦協定
1951	第二次世界大戦(一四五)	1954	日米安全保障条約の調印
1952	朝鮮人強制連行政策がとられる	1955	サンフランシスコ平和条約の調印
1953	労働動員計画づくりはじまる	1956	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
1954	国民徴用令が公布される	1957	初原水爆禁止世界大会(広島)
1955	物資動員計画はじまる	1958	自衛隊の発足
1956	国家総動員法ができる	1959	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
1957	厚生省つくれる	1960	日米安全保障条約の改定
1958	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	1961	部分的核実験禁止条約に調印
1959	日独伊三国同盟	1962	カラールテレビ放送開始
1960	国民徴用法が公布される	1963	日米安全保障条約の改定
1961	第二次世界大戦(一四五)	1964	国際連合に加盟
1962	朝鮮人強制連行政策がとられる	1965	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
1963	労働動員計画づくりはじまる	1966	初原水爆禁止世界大会(広島)
1964	国民徴用令が公布される	1967	自衛隊の発足
1965	物資動員計画はじまる	1968	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
1966	国家総動員法ができる	1969	日米安全保障条約の改定
1967	厚生省つくれる	1970	部分的核実験禁止条約に調印
1968	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	1971	カラールテレビ放送開始
1969	日独伊三国同盟	1972	日米安全保障条約の改定
1970	国民徴用法が公布される	1973	国際連合に加盟
1971	第二次世界大戦(一四五)	1974	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
1972	朝鮮人強制連行政策がとられる	1975	初原水爆禁止世界大会(広島)
1973	労働動員計画づくりはじまる	1976	自衛隊の発足
1974	国民徴用令が公布される	1977	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
1975	物資動員計画はじまる	1978	日米安全保障条約の改定
1976	国家総動員法ができる	1979	部分的核実験禁止条約に調印
1977	厚生省つくれる	1980	カラールテレビ放送開始
1978	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	1981	日米安全保障条約の改定
1979	日独伊三国同盟	1982	国際連合に加盟
1980	国民徴用法が公布される	1983	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
1981	第二次世界大戦(一四五)	1984	初原水爆禁止世界大会(広島)
1982	朝鮮人強制連行政策がとられる	1985	自衛隊の発足
1983	労働動員計画づくりはじまる	1986	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
1984	国民徴用令が公布される	1987	日米安全保障条約の改定
1985	物資動員計画はじまる	1988	部分的核実験禁止条約に調印
1986	国家総動員法ができる	1989	カラールテレビ放送開始
1987	厚生省つくれる	1990	日米安全保障条約の改定
1988	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	1991	国際連合に加盟
1989	日独伊三国同盟	1992	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
1990	国民徴用法が公布される	1993	初原水爆禁止世界大会(広島)
1991	第二次世界大戦(一四五)	1994	自衛隊の発足
1992	朝鮮人強制連行政策がとられる	1995	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
1993	労働動員計画づくりはじまる	1996	日米安全保障条約の改定
1994	国民徴用令が公布される	1997	部分的核実験禁止条約に調印
1995	物資動員計画はじまる	1998	カラールテレビ放送開始
1996	国家総動員法ができる	1999	日米安全保障条約の改定
1997	厚生省つくれる	2000	国際連合に加盟
1998	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2001	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
1999	日独伊三国同盟	2002	初原水爆禁止世界大会(広島)
2000	国民徴用法が公布される	2003	自衛隊の発足
2001	第二次世界大戦(一四五)	2004	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2002	朝鮮人強制連行政策がとられる	2005	日米安全保障条約の改定
2003	労働動員計画づくりはじまる	2006	部分的核実験禁止条約に調印
2004	国民徴用令が公布される	2007	カラールテレビ放送開始
2005	物資動員計画はじまる	2008	日米安全保障条約の改定
2006	国家総動員法ができる	2009	国際連合に加盟
2007	厚生省つくれる	2010	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2008	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2011	初原水爆禁止世界大会(広島)
2009	日独伊三国同盟	2012	自衛隊の発足
2010	国民徴用法が公布される	2013	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2011	第二次世界大戦(一四五)	2014	日米安全保障条約の改定
2012	朝鮮人強制連行政策がとられる	2015	部分的核実験禁止条約に調印
2013	労働動員計画づくりはじまる	2016	カラールテレビ放送開始
2014	国民徴用令が公布される	2017	日米安全保障条約の改定
2015	物資動員計画はじまる	2018	国際連合に加盟
2016	国家総動員法ができる	2019	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2017	厚生省つくれる	2020	初原水爆禁止世界大会(広島)
2018	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2021	自衛隊の発足
2019	日独伊三国同盟	2022	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2020	国民徴用法が公布される	2023	日米安全保障条約の改定
2021	第二次世界大戦(一四五)	2024	部分的核実験禁止条約に調印
2022	朝鮮人強制連行政策がとられる	2025	カラールテレビ放送開始
2023	労働動員計画づくりはじまる	2026	日米安全保障条約の改定
2024	国民徴用令が公布される	2027	国際連合に加盟
2025	物資動員計画はじまる	2028	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2026	国家総動員法ができる	2029	初原水爆禁止世界大会(広島)
2027	厚生省つくれる	2030	自衛隊の発足
2028	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2031	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2029	日独伊三国同盟	2032	日米安全保障条約の改定
2030	国民徴用法が公布される	2033	部分的核実験禁止条約に調印
2031	第二次世界大戦(一四五)	2034	カラールテレビ放送開始
2032	朝鮮人強制連行政策がとられる	2035	日米安全保障条約の改定
2033	労働動員計画づくりはじまる	2036	国際連合に加盟
2034	国民徴用令が公布される	2037	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2035	物資動員計画はじまる	2038	初原水爆禁止世界大会(広島)
2036	国家総動員法ができる	2039	自衛隊の発足
2037	厚生省つくれる	2040	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2038	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2041	日米安全保障条約の改定
2039	日独伊三国同盟	2042	部分的核実験禁止条約に調印
2040	国民徴用法が公布される	2043	カラールテレビ放送開始
2041	第二次世界大戦(一四五)	2044	日米安全保障条約の改定
2042	朝鮮人強制連行政策がとられる	2045	国際連合に加盟
2043	労働動員計画づくりはじまる	2046	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2044	国民徴用令が公布される	2047	初原水爆禁止世界大会(広島)
2045	物資動員計画はじまる	2048	自衛隊の発足
2046	国家総動員法ができる	2049	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2047	厚生省つくれる	2050	日米安全保障条約の改定
2048	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2051	部分的核実験禁止条約に調印
2049	日独伊三国同盟	2052	カラールテレビ放送開始
2050	国民徴用法が公布される	2053	日米安全保障条約の改定
2051	第二次世界大戦(一四五)	2054	国際連合に加盟
2052	朝鮮人強制連行政策がとられる	2055	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2053	労働動員計画づくりはじまる	2056	初原水爆禁止世界大会(広島)
2054	国民徴用令が公布される	2057	自衛隊の発足
2055	物資動員計画はじまる	2058	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2056	国家総動員法ができる	2059	日米安全保障条約の改定
2057	厚生省つくれる	2060	部分的核実験禁止条約に調印
2058	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2061	カラールテレビ放送開始
2059	日独伊三国同盟	2062	日米安全保障条約の改定
2060	国民徴用法が公布される	2063	国際連合に加盟
2061	第二次世界大戦(一四五)	2064	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2062	朝鮮人強制連行政策がとられる	2065	初原水爆禁止世界大会(広島)
2063	労働動員計画づくりはじまる	2066	自衛隊の発足
2064	国民徴用令が公布される	2067	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2065	物資動員計画はじまる	2068	日米安全保障条約の改定
2066	国家総動員法ができる	2069	部分的核実験禁止条約に調印
2067	厚生省つくれる	2070	カラールテレビ放送開始
2068	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2071	日米安全保障条約の改定
2069	日独伊三国同盟	2072	国際連合に加盟
2070	国民徴用法が公布される	2073	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2071	第二次世界大戦(一四五)	2074	初原水爆禁止世界大会(広島)
2072	朝鮮人強制連行政策がとられる	2075	自衛隊の発足
2073	労働動員計画づくりはじまる	2076	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2074	国民徴用令が公布される	2077	日米安全保障条約の改定
2075	物資動員計画はじまる	2078	部分的核実験禁止条約に調印
2076	国家総動員法ができる	2079	カラールテレビ放送開始
2077	厚生省つくれる	2080	日米安全保障条約の改定
2078	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2081	国際連合に加盟
2079	日独伊三国同盟	2082	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2080	国民徴用法が公布される	2083	初原水爆禁止世界大会(広島)
2081	第二次世界大戦(一四五)	2084	自衛隊の発足
2082	朝鮮人強制連行政策がとられる	2085	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2083	労働動員計画づくりはじまる	2086	日米安全保障条約の改定
2084	国民徴用令が公布される	2087	部分的核実験禁止条約に調印
2085	物資動員計画はじまる	2088	カラールテレビ放送開始
2086	国家総動員法ができる	2089	日米安全保障条約の改定
2087	厚生省つくれる	2090	国際連合に加盟
2088	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2091	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2089	日独伊三国同盟	2092	初原水爆禁止世界大会(広島)
2090	国民徴用法が公布される	2093	自衛隊の発足
2091	第二次世界大戦(一四五)	2094	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2092	朝鮮人強制連行政策がとられる	2095	日米安全保障条約の改定
2093	労働動員計画づくりはじまる	2096	部分的核実験禁止条約に調印
2094	国民徴用令が公布される	2097	カラールテレビ放送開始
2095	物資動員計画はじまる	2098	日米安全保障条約の改定
2096	国家総動員法ができる	2099	国際連合に加盟
2097	厚生省つくれる	2100	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2098	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2101	初原水爆禁止世界大会(広島)
2099	日独伊三国同盟	2102	自衛隊の発足
2100	国民徴用法が公布される	2103	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2101	第二次世界大戦(一四五)	2104	日米安全保障条約の改定
2102	朝鮮人強制連行政策がとられる	2105	部分的核実験禁止条約に調印
2103	労働動員計画づくりはじまる	2106	カラールテレビ放送開始
2104	国民徴用令が公布される	2107	日米安全保障条約の改定
2105	物資動員計画はじまる	2108	国際連合に加盟
2106	国家総動員法ができる	2109	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2107	厚生省つくれる	2110	初原水爆禁止世界大会(広島)
2108	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2111	自衛隊の発足
2109	日独伊三国同盟	2112	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2110	国民徴用法が公布される	2113	日米安全保障条約の改定
2111	第二次世界大戦(一四五)	2114	部分的核実験禁止条約に調印
2112	朝鮮人強制連行政策がとられる	2115	カラールテレビ放送開始
2113	労働動員計画づくりはじまる	2116	日米安全保障条約の改定
2114	国民徴用令が公布される	2117	国際連合に加盟
2115	物資動員計画はじまる	2118	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2116	国家総動員法ができる	2119	初原水爆禁止世界大会(広島)
2117	厚生省つくれる	2120	自衛隊の発足
2118	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2121	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2119	日独伊三国同盟	2122	日米安全保障条約の改定
2120	国民徴用法が公布される	2123	部分的核実験禁止条約に調印
2121	第二次世界大戦(一四五)	2124	カラールテレビ放送開始
2122	朝鮮人強制連行政策がとられる	2125	日米安全保障条約の改定
2123	労働動員計画づくりはじまる	2126	国際連合に加盟
2124	国民徴用令が公布される	2127	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2125	物資動員計画はじまる	2128	初原水爆禁止世界大会(広島)
2126	国家総動員法ができる	2129	自衛隊の発足
2127	厚生省つくれる	2130	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2128	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2131	日米安全保障条約の改定
2129	日独伊三国同盟	2132	部分的核実験禁止条約に調印
2130	国民徴用法が公布される	2133	カラールテレビ放送開始
2131	第二次世界大戦(一四五)	2134	日米安全保障条約の改定
2132	朝鮮人強制連行政策がとられる	2135	国際連合に加盟
2133	労働動員計画づくりはじまる	2136	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2134	国民徴用令が公布される	2137	初原水爆禁止世界大会(広島)
2135	物資動員計画はじまる	2138	自衛隊の発足
2136	国家総動員法ができる	2139	第五福竜丸がビキニで死の灰をあげる(ビキニ事件)
2137	厚生省つくれる	2140	日米安全保障条約の改定
2138	盧溝橋事件から日中戦争に(一四五)	2141	部分的核実験禁止条約に調印
2139	日独伊三国同盟	2142	カラールテレビ放送開始
2140	国民徴用法が公布される	2143	日米安全保障条約の改定
2141	第二次世界大戦(一四五)	2144	国際連合に加盟
2142	朝鮮人強制連行政策がとられる	2145	日ソ国交回復(日ソ共同宣言)
2143	労働動員計画づくりはじまる	2146	初原水爆禁止世界大会(広島)
2144	国民徴用令が公布される	2147	自衛隊の発足
2145	物資動員計画はじまる	2148	第五福竜

